

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	観光ネットワーク推進事業				シート番号	008-008
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光推進	課 評価責任者(課長名)
						北口

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	4	歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出	無
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成18～平成22年度に堺観光の二大戦略拠点である旧市街地と大仙公園周辺において、観光案内サインを整備。平成24年度に旧市街地にある阪堺線停留所へ観光案内サインを設置。平成26年度にさかい利品の社の開館に伴い観光案内サインの板面を改修。平成30年度から百舌鳥古墳群周遊路サインの整備を実施。令和元年度に百舌鳥古墳群周遊路サインの整備を完了。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	本市への来訪者及び市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺市内へのさらなる誘客に向けて、観光客の周遊性を高める観光案内サインの設置を行うとともに、多言語表示を進めることで外国人観光客の受入体制の充実を図ることを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	観光客が市内を容易に周遊できるよう、多言語化表示や見やすさに配慮した観光案内サインを整備。既存の観光案内サインについては、新しい情報への更新に伴う板面改修や清掃などによる維持管理を継続。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (公社)シルバー人材センターや民間事業者等				

Ⅲ. 投入量

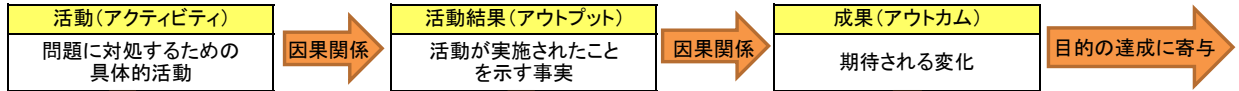
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	8,008	1,884	19,324	5,084	31,389	20,455	3,154	
主な事業費内訳	観光案内サイン設置・多言語化・修繕・維持管理	千円	8,008	1,884	5,524	5,084	2,900	1,406	3,154
	百舌鳥古墳周遊路サイン整備	千円			13,800		28,300	19,050	
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円				22,935	13,200		
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他( )	千円							
一般財源	千円	8,008	1,884	19,324	5,084	8,454	7,255	3,154	
12 人件費 (b)	千円	11,800	11,800	11,700	11,700	8,525	8,100	8,200	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	19,808	13,684	31,024	16,784	39,914	28,555	11,354	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	観光ネットワーク推進事業	シート番号	008-008
-------	--------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	観光案内サインは、令和元年度末において264基を整備している。令和元年度は、平成30年度に引き続き、百舌鳥古墳群の世界文化遺産登録を契機として増加が予想される来訪者が迷うことなく快適に周遊できるよう、反正天皇陵古墳・ニサンザイ古墳エリアを中心に「百舌鳥古墳群周遊路サイン」を20基整備した。また、百舌鳥駅前に誘導案内板を1基整備した。					
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	観光案内サインの新規設置数および板面改修数	目標値	30	60	20	10	
		実績値	38	39	21		
		達成率	127%	65%	105%		
		評価	大変良い	少し悪い	良い		
	算出方法・設定根拠など		観光案内版の設置状況を踏まえて設定				
	16	定性的な目標	本市への観光来訪者が迷うことなく快適に周遊することのできる環境を整備する。				
	目標に対する実績		観光案内サイン整備箇所264基				

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	観光案内サインの新規設置数および板面改修数	基	38	39	21	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	13,684	16,784	28,555	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	360,105	430,359	1,359,762	
	備考(算出についての説明等)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①						
	②	上記①にかかる年間経費	千円				
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位				
備考(算出についての説明等)							

#### 業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
19	百舌鳥古墳群周遊路サインはH29～H31の3年間での整備を計画していたが、H30年度の百舌鳥古墳群世界遺産登録にあわせて整備するため前倒して実施することで、より早期に周遊環境の整備を行うことができた。

- 【分析のチェックポイント】
- 事業の達成度はどうだったか。
  - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
  - 資源投入は適切でしたか。
  - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
  - 有効性は高いですか。低いですか。
  - 効率性は向上していますか。
  - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
  - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	観光ネットワーク推進事業	シート番号	008-008
-------	--------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 政令指定都市をはじめ各自治体において、当該地域の史跡や観光資源等を案内する誘導サインの設置が行われているなかで、当該事業を廃止することは市内の史跡や観光地を案内する機能低下につながるだけでなく、既設の観光案内サインの維持・管理もできなくなるため、妥当でないと思われる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 百舌鳥古墳群周遊路サイン整備は令和元年度に完了した。観光案内板の新規整備については、一定期間の延期が可能。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 観光案内サインの新規設置を延期することでコスト縮減が可能。また、今後民間事業者と連携し、広告付のサインの設置を行うことで整備・維持コストの削減を図ることを検討している。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 観光案内サインはすべて屋外に整備しており、3密への影響はない。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( ) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	理由・説明 観光案内サインの整備にあたっては、国や府の補助金を活用することで一般財源負担を軽減している。また、今後広告付のサインやデジタルサイネージ化などにより、効果的・効率的な事業実施の可能性を検討している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	所見 市内各地に史跡や観光スポットが存在する本市において、観光案内サインの必要性は高く、引き続き来訪者が快適に周遊できるようサインの新規設置、維持管理、板面更新に計画的に取り組んでいく。なお、令和3年度から観光受入環境整備事業に統合し、事業実施の効率化を図る。